



学校だより

小和田小学校

令和5年 6月号

学校教育目標

「心も体も丈夫な子」「思いやりのある子」「自ら学ぶ子」

学校経営方針

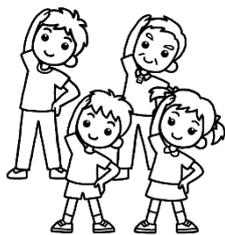
一人ひとりを大切に、社会力のある人を育み、みんなの笑顔がある学校

中学校の体育祭を参観して

校長 大野 洋

厳しい日差しで蒸し暑さを感じたと思えば、雨が降って肌寒いなど天候の変化に戸惑うこの頃です。朝、応援係の子が低学年の教室に行って応援の手ほどきをして、応援歌やエールの声が聞こえてきます。授業中、校庭では競技のBGMが響き、昼休みには応援団の太鼓の音が響くなど、運動会が近づいてきていることがわかります。ただ、台風2号の影響で今後の練習も含め、当日の空模様が大変気がかりです。

20日(土)に赤羽根中学校の体育祭を参観させていただきました。さすが中学生、小学生とは違った力強さや頼もしさがありました。つい3月まで6年生だった1年生もとても大人っぽく見えました。特に印象的だったのがラジオ体操の完成度と入場行進の凛々しさでした。



中学校では、生徒が主体となって体育祭を作り上げるのが伝統になっていて、ラジオ体操は先輩が1年生に正しいラジオ体操を指導してくれるのだそうです。そろった足並みの行進は皆で力を合わせて体育祭を作り上げようとする気持ちを体現したものだと感じました。本校も運動会における準備体操はラジオ体操ですが、このような面でも中学校と繋がっており、継続して行うことは大切だとあらためて感じました。

交通安全教室

1年生を対象にした交通安全教室が、5月18日(木)に行われました。正しい交通ルールを身につけ、毎日安全に登下校できるようにと、市の安全対策課と交通指導員の協力のもと行っています。そして今年もまちちから協議会や推進協、こわだ会の方が大勢応援に駆けつけてくださいました。グラウンドに設置された信号機や車、横断歩道を使って1人ずつ実際に歩きながら、正しい歩き方や横断の仕方を教えていただきました。当日は暑かったのですが、子どもたちは一生懸命説明を聞いて上手に歩いていました。

学んだことを一時で終わらすことなく、学校でも継続して機をとらえて自分の身を守る指導を行っていきます。ご家庭でも、横断歩道の渡り方、飛び出しや道路遊びの危険性など、折に触れて話していただくようお願いいたします。

そして、登下校の時間に旗振りをしてくださっている地域の皆様、こわだ会の皆様、雨の日も風の日も子どもたちの安全のためにご尽力いただき、本当にありがとうございます。心から感謝申し上げます。



<保護者の皆様へお願い>不審者から児童を守るため、来校の際には門扉の施錠(授業中)と保護者証の着用(送り迎えを含め)のご協力をお願いします。